



申6号

過去の教訓を基に定めたルールへの遵守ではなく、新たなルールを乱発する経営の対応は、職場から積み上げてきた“原則線閉”安全規範を否定する“歴史を愚弄する行為”だ!

“いのち”を守る判断を最優先とする職場体制を再確立し、 繰り返される保守作業誤り等の組織事故防止を求める**緊急**申し入れ

8月22日 申し入れ提出!

申し入れ項目

1. 保守作業誤り等が繰り返される非常事態に対し、鉄道事業における安全統括管理を司る本社としての責任を明確にすること。
2. 事故・事象の連鎖を断ち切るために、設備及び建設工事部門従事員触車事故防止要領を遵守できる職場体制を再確立すること。

いつ社員・作業員の“いのち”が奪われても、奪ってしまってもおかしくない!
繰り返される事故・事象の掘り下げが行われず、現場実態を顧みない上位下達の風土が蔓延し、これまで現場で醸成してきた安全文化が形骸化され希薄化している!

これまで“いのち”が脅かされる事象・事故の連鎖を止められない事態に対し再三再四問題提起を行い、申し入れをしてきたがいまだ未開催、中断したままで!
この会社姿勢が“極めて重大”であり、結果としてこの事態を招いている!

社員・作業員の“いのち”を守ることを最優先として直ちに、団体交渉を開催することを求める!